

中国の教会との草の根交流をはかる

中国

中国基督教两会と 現地教会を訪ねる旅

日程:2017年5月8日(月)～5月16日(火) 9日間

5月8日(月)	東京⇒上海(午前便) 上海市内観光 夕食会 上海泊
5月9日(火)	中国基督教協会・三自愛国運動(两会)本部訪問 昼食会 上海两会訪問・華東神学院見学 夕食会 上海泊
5月10日(水)	飛行機で重慶へ 昼食会 重慶两会訪問 重慶市内教会訪問 夕食会 重慶泊
5月11日(木)	武隆観光 重慶泊
5月12日(金)	重慶から成都へ移動 四川两会訪問 昼食会 観光(成都熊猫繁育研究所など) 夕食 成都泊
5月13日(土)	閬中観光 成都泊
5月14日(日)	成都市内教会礼拝出席(成都市基督教上翔堂予定) 昼食 成都市内観光 飛行機で北京へ移動 北京泊
5月15日(月)	国家宗教局訪問 昼食会 北京两会訪問 夕食会 北京泊
5月16日(火)	北京市内観光 北京⇒東京(夕刻便)

注:日にち、期間、訪問先はあくまでも『案』です。
参加者、受け入れ側の都合に合わせて変更の可能性があります。
お申込者には確定後、詳細をお知らせいたします。

主催:NCC中国委員会 共催:中国基督教協会・三自愛国運動委員会

申込み・お問合せ:中国委員会委員長 ベランド・エミ emibeland-jbs@bible.or.jp 03-3567-1990 (日本聖書協会内)



応募締切 3月31日
先着12名

費用:中国への往復航空券代
6～10万円(エコミ-利用)

現地での費用(滞在費・移動費等)
は中国基督教两会が負担してくだ
さいます。

《中国基督教两会・日本キリスト教協議会相互訪問について》



日本キリスト教協議会と中国基督教協会及び中国三自愛国運動委員会との友好関係は、1983年に第1回訪中団を送り、翌年、1984年に第1回中国基督教協会訪日団を迎え、中国の教会と日本の教会の公式な関係を開始したことに始まります。1985年には、当時、NCC国際関係委員会委員長であった、竹内謙太郎氏と総幹事の前島宗甫氏が訪中し、具体的な協力関係について話しあいました。話し合いの内実を深めるべく、1987年以降、NCCは具体的な協力交流活動として日本語教師の派遣をおこない、20名に及ぶ教師を各2年から3年ずつ派遣し、民衆レベルの交流、キリスト者同士の親睦を深めてきました。その後、公式相互訪問としては、日本からは1996年春(第2回)、2004年9月(第3回)、2009年8月(第4回)にNCC中国教会訪問代表団を派遣しており、中国からは1999年(第2回)、2007年(第3回)、2010年11月(第4回)に中国基督教两会訪日団をお迎えしました。今回の日本からの訪問は第5回目となります。

今回の訪問が過去の歴史を踏まえつつ、平和と愛、信仰と信頼に基づいた両国のキリスト者の交流の輪をさらに広げ、2国の姉妹兄弟と連携して、アジアの平和と和解に向けて共通の働きを強めてゆく有意義な訪問になることを願っております。

2017年 中国基督教两会訪問 参加申込書 FAX: 03-3567-4435

申込書に必要事項をご記入の上、上記のファックス番号へご送信ください。詳細は後日ご連絡いたします。申込みの締切は3月31日(金)です。

旅券情報は中国基督教两会が現地での移動の手配をするために必要となりますので必ずご記入ください。尚、ご記入いただいた個人情報、当訪問旅行以外の目的に使用することはございません。

ふりがな		生年月日(西暦)	性別
氏名		年 月 日	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
	姓(LAST NAME)	名(FIRST NAME)	
パスポート名義			
	旅券番号(Passport Number)	旅券有効期限	国籍
		年 月 日	
ふりがな			
現住所			
電話番号	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 携帯	その他特筆すべきこと(アレルギーなど)	
Eメールアドレス			

インターネットでのお申込みは下記のURLまたは右のQRコードからお願いいたします。スマートフォンからのお申込みも可能です。

https://drive.google.com/open?id=125n3eVHgQ_lorAt4op3tcbVZjgby8B6SZN3lsUZRqKw



注意

パスポート(旅券)、査証など旅行に必要な公式書類は各自でご手配くださいますようお願いいたします。また、海外保険へのご加入も各自でお願いいたします。

日本キリスト教協議会では、渡航中の事故・災害などの責任は一切負いかねますのでご了承ください。